

「海星中学校の伝統芸能伝承活動の取組」

～長浜地区「出羽踊り」・青瀬地区「青瀬ヤンハ」・手打地区「港ヤンハ」・鹿島地区「鹿島太鼓」～

1 学校名

薩摩川内市立海星中学校

2 学年・人数

長浜地区生徒（9名） 青瀬地区生徒（3名）
手打地区生徒（8名） 鹿島地区生徒（3名） 計23名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年5月～11月 長浜地区コミュニティセンター
令和5年10月～11月 青瀬地区コミュニティセンター
令和5年8月～11月 下甕離島住民生活センター
令和5年9月～11月 鹿島公民館

(2) 発表の日時・場所

【長浜出羽踊り】

令和5年10月29日（日） こしきしま竜宮文化フェスタ（里公民館）
令和5年11月4日（土） 本校文化祭（海星中）

【青瀬ヤンハ】

令和5年11月3日（金） 青潮神社例祭（青瀬地区）
令和5年11月4日（土） 本校文化祭（海星中）

【港ヤンハ・鹿島太鼓】

令和5年11月4日（土） 本校文化祭（海星中）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 長浜出羽踊り（ながはまではおどり） 長浜地区生徒

ア 由来

伝わり方等については、文献や古老の口伝えにも残っていない。相当前から島民に親しまれていたようである。古老の話から、藩政時代に7つの村がそれぞれの踊りを地頭屋敷の前庭で役人方に披露し、出来映えによって役人方のおほめの詞を給わると大変な名誉とされたことから、踊りの稽古に相当な日数を費やしたものだっらしい。

イ 構成等

踊りは花道から舞台に出る最初のところを「出羽」と称して、舞台上で披露する踊りを「中踊り」、舞台から引き上げるところを「入羽」と名付けられている。

(2) 青瀬ヤンハ（あおせはんや） 青瀬地区生徒

ア 由来

由来については諸説あり、年代もはっきりしていないが、青瀬郷土芸能保存会長によると、「壇ノ浦の戦いに敗れた平氏の落人が島に流れ着き、考え出したと伝えられている。」ということである。江戸時代には島を治める地頭の来訪に合わせて披露したようである。

イ 構成等

太鼓と拍子木に合わせて、刀で切るような扇子の動きに特徴がある。「ヤンハ」という力強いかけ声の一方で、日本舞踊の優雅な動きもある。踊りの「出羽・中踊り・入羽」の三部構成からなる。

(3) 港ヤンハ（みなとやんは） 手打地区生徒

ア 由来

由来については諸説あり，始まりや歴史は不明であるが，古くから下甌村手打の港地域の郷土芸能として踊り唄い継がれてきた。平成9年に開催された第1回竜宮フェスタへの出演を機に，港地域の青年が中心となって保存会を結成し，郷土芸能の保存伝承に取り組むようになった。

イ 構成等

唄，太鼓，拍子木，踊り（踊りは通常4名だが増やすのは可能）

(4) 鹿島太鼓（かしまだいこ） 鹿島地区生徒

ア 由来

昭和55年鹿島村郷土芸能保存会が組織し，新しい郷土芸能として，荒波に雄々しく立ち向かう漁民の姿を太鼓の音に表現した「鹿島太鼓」の創作を行った。その後，婦人会を中心に継承し，鹿島小中学校（中：現在休校）の児童生徒が練習し，文化祭などで披露してきた。

イ 構成等

大太鼓，中太鼓，締太鼓，小太鼓で形成している。参加人数によって竹太鼓等でアレンジしている。

5 保存会や地域との連携の具体

伝統芸能の伝承については，各地域の保存会が中心となり，取り組んでいる。そのため，学校は教育活動に位置付けることはないが，各地域担当職員が保存会と連携し，伝承活動を積極的に支援している。また，生徒減少に伴い，保存会の方々や本校職員が参加し，文化祭や各地域の行事において披露している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

校区内の各地域の伝統芸能を文化祭で披露している。生徒は，文化祭等で披露することに憧れがあり，住んでいる地域の伝統芸能に高い関心をもっている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【文化祭（出羽踊り）】 【文化祭（青瀬ヤンハ）】 【文化祭（港ヤンハ）】 【文化祭（鹿島太鼓）】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

文化祭や地域の行事で披露することができて良かった。これからも伝統を受け継いで欲しいです。保存会の方々練習，指導等ありがとうございました。

【教職員】

本校の文化祭の特色である，各地域の伝統芸能披露が職員も参加し，地域ぐるみで披露することができ，生徒とともに良い経験となった。今後も地域とともに伝統芸能を伝承し，甌島を盛り上げたい。

【保存会】

今年度は多くの郷土芸能が披露でき良かった。今後は，生徒数減少に伴い，郷土芸能をどのようにして伝承していくかが課題です。子どもたちが，島立ちしても郷土を思う気持ちを忘れず，頑張ってもらいたい。